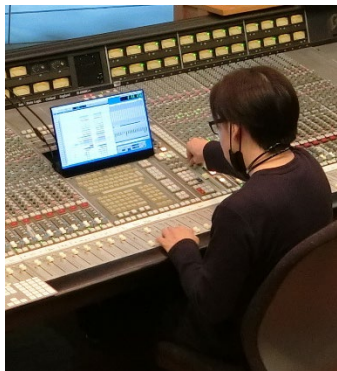




四日市大学が目指す 高大連携の未来とは

歌声をかたちにする、デジタルメディアの技術



2025 年 1 月 7 日、四日市大学環境情報学部音情報研究室が協力し、本学スタジオにて暁高校合唱部の歌声を収録しました。これまでも、四日市市歌や福島県葛尾村立葛尾小学校の校歌(復興支援)を収録しており、地域との連携を活かした取り組みを継続しています。

都市空間におけるメディア環境のデザインや技術にも、近年は高度な情報技術が活用されており、音や光の演出はより複雑かつ精緻になっています。本学においても、メディア表現と情報技術を融合させた教育・研究に注力しており、今回の収録では、最新のデジタル機材と編集技術を用いて高品質な音源を制作しました。

今後も、デジタルとメディア技術を活用した研究と実践を通じて、高大連携のさらなる推進を図っていきます。

高大連携で被災地支援と地域防災への貢献

2014 年 8 月、四日市大学に、宮城県の石巻西高校、三重の暁中学校・高校、四郷高校、桑名北高校、桑名西高校、四日市高校、大池中学の生徒が集い、防災カレンダー作成のワークショップを開催しました。この防災カレンダーは、暁中学高等学校の復興支援委員会の恒例イベントとして引き継がれ、2015 年まで毎年継続的に発行しています。

この取り組みは、四日市大学の学生・教職員が 2011 年に立ち上げた被災地支援を行う四日市東日本大震災支援の会がコーディネートしました。支援の会は、2025 年 6 月には 97 回目の活動として、輪島市門前町の仮設住宅でサロン活動を行いました。支援の会の活動には、多くの高校生も参加しており、三重県教委と連携した「学校防災ボラ事業」では、2015 年より継続的に県内高校生約 30 名の災害ボラをコーディネートしています。

さらに、四日市市と連携して学生消防団を結成し、地域防災への貢献をしています。平時の防災啓発・救命指導、有事の際は避難所と災害ボラセンの運営にあたります。



暁高校との連携で授業体験会・探求活動の支援



2025 年 3 月、1 年生を対象に進学意識を高め進路選択に資することを目的に、授業体験会を実施しました。約 40 名が来学し、5 つのテーマから模擬授業を約 2 時間受講してもらいました。また、2024 年 7 月には 2 年生約 250 名が「地域課題」をテーマにした探究活動に取り組み、探究活動における心構えや、テーマの掘り下げ方法、調査方法等を相談できる機会を設け、総合政策学部教員 9 名、環境情報学部教員 6 名の研究室を訪問する企画を実施しました。今後は、他の多くの高校においても探究活動に関連する高大連携に取り組んでいきます。

◆四日市大学が目指す高大連携の未来

ここで紹介した高大連携以外にも、四日市メリノール学院高校が採択された DX ハイスクールにおける連携、桑名北高校、いなべ総合学園、久居農林高校などとの高大連携事業に取り組んでいます。今後は、本学の持つ資源を幅広く三重県内外の高校との連携に活かし、本学の掲げる Act4U(地域の未来を動かすアクション、4 日市 University)の想いを、地域に広げていきたいと考えています。(問い合わせ先:四日市大学入試課 nyushi@yokkaichi-u.ac.jp)